

※農業委員会だよりは  
こちらのQRコードから  
ご覧いただけます。



黒マルチに葉っぱがつくと熱く  
わったら『葉っぱに土のおふと  
んを敷いてあげましょう。』

# 大きくなーれ! サツマイモ



大きくなーれ!

をいっぱいお水  
をのんでね!



もう少し深く  
植えようね。

園児の定植を補助する農業委員、農地利用最適化推進委員たち



おい  
しいお芋  
にーれ!!



おい  
しいお芋  
にーれ!!

定植前の子ども園長橋の園児たち



苗の乾燥や雑草から守るため、  
市の事業で収集した稲わらを、  
畑全面に敷き活用を図りました。

6月17日、毎年恒例の農業委員、農地利用最適化推進委員と市内の子ども園の園児、女性農業団体、福祉施設利用者によるサツマイモの定植が行われました。  
この事業は、子どもたちに農業や食に興味を持ってもらうため、毎年実施しているもので、今年で22年目を迎えます。  
当日は、総勢100名ほどが参加しました。  
子どもたちは園地を管理している(株)アグリコミュニケーション・津軽の宮田健代表取締役から定植方法について説明を受けた後、「紅あずま」のほか「紅はるか」「シルクスイート」の苗を次々に植え付けて行きました。作業を終えた子どもたちは、ペットボトルに水を入れ、定植した苗に向かって「大きくなーれ! 美味しいお芋水やりをしています。」  
10月には今回定植したサツマイモの収穫体験を予定しています。

## 家族分の農業者年金支払いで、 がっちり節税!!



農業者年金は国民年金の被保険者で、年間60日以上農業に従事されている20歳から65歳までの方が加入できます。(一部条件あり)

農業者年金の保険料は同一生計の親族分の保険料をJAの貯金口座から支払ってもらった場合、保険料を支払った方は確定申告する際に社会保険料控除の対象とすることができ、節税になります。証明書の添付は必要なく控除欄に納付金額を記入し申告するだけでOKです。

詳細は、お近くの税務署又は税理士にご相談ください。

【問い合わせ先】農業委員会(内線2882)



ため池での釣りや水遊びなどにより、痛ましい水難事故が全国各地で発生しています。  
保護者や地域のみなさんは、子どもたちがため池に近づかないようお声かけをお願いします。

【問い合わせ先】農村整備課(内線2532)



## 総会の開催予定

○令和6年第10回総会  
8月9日(金) 15:00~  
市役所2階 B・C会議室

○令和6年第11回総会  
9月10日(火) 15:00~  
市役所2階 B・C会議室



※過去の議事録は  
こちらのQRコード  
からご覧いただけ  
ます。

※法令により総会等の会議は公開されております。  
また、議事録は農業委員会事務局にて閲覧できます。

【問い合わせ先】  
農業委員会(内線2881)

## 各種申請の締切り日

- ◎農地法第4条申請、第5条申請  
・農地を農地以外のものとして使用する場合  
例：住宅・車庫・店舗建築  
毎月25日締切り(25日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)
- ◎農地法第3条申請、農用地利用集積計画の同意、競売・公売買受適格証明願  
・農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合  
毎月25日締切り(25日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)
- ◎あっせん申出  
・あっせんにより農地を売買する場合  
毎月5日締切り(5日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)

【問い合わせ先】農業委員会  
(内線2884、2885)

## 農地情報 令和6年7月現在

下記の農地について、受け手を探しています。  
価格等の条件は交渉できる場合もあります。  
農地の位置図もありますので興味のある方は、  
下記までお問い合わせください。



※その他の情報はQRコードから  
ご覧いただけます。

番号	整理番号	区分	農地所在	地目	面積(a)	圃場整備有無	利用状況	10a当たり希望価格
1	368	売渡貸付	松野木農掛	田	79.39	無	田	応相談
2	369	売渡貸付	金木町芦野	畑	7.93	無	田	応相談
3	370	売渡貸付	羽野木沢隈	無畑	25.21	無	休耕畑	応相談
4	371	貸付	幾島町	田	20.26	無	休耕畑	応相談
5	372	貸付	飯詰沢田	田	216.48	無	田	応相談
6	373	売渡貸付	鶴ヶ岡福田、爪	田	8.153	無	休耕田	応相談
7	374	売渡貸付	飯詰森越	田	2.937	無	休耕畑	応相談
8	375	売渡貸付	小曲豊成	田	2.177	無	休耕畑	応相談
9	376	売買	金木町芦野	田	4.227	無	休耕田	応相談
10	377	売買	金木町鐘石	田	3.014	無	休耕田	応相談

※農地を売りたい方・買いたい方、貸したい方・借りたい方は  
ご相談ください。

【問い合わせ先】農業委員会(内線2885)

## 安全 熱中症にご注意!

夏の農作業をするにあたり、作業中の熱中症を未然に防止するため、下記の予防対策を心がけ、安全第一で農作業しましょう。

### 農作業中の熱中症対策のポイント

- 高温時の作業は避けましょう
- こまめな休息と水分・塩分補給をしましょう
- 1人での作業はできるだけ避けましょう
- 熱中症対策グッズ(帽子・空調服等)を活用しましょう

### 以下のような症状が出たら 熱中症かもしれません

- ☑ めまいやたちくらみ
- ☑ 筋肉痛や筋肉のけいれん
- ☑ 大量の発汗
- ☑ 体のだるさ・頭痛・吐き気
- ☑ 呼び掛けに反応しない、まっすぐ歩けない

### 熱中症の疑いがあったら、 すぐに応急措置を!

- ① 作業を中断し、涼しい場所へ移動しましょう
- ② 衣服をゆるめ、体を冷やして体温を下げましょう
- ③ 塩分や水分を補給しましょう
- ④ 応急措置をしても症状が改善しない場合には、医療機関で診察を受けましょう

※参考：青森県・青森県農作業安全推進協議会  
作成によるチラシ

～令和7年1月～3月上旬に、お仕事できる方～  
**農林業センサス調査員大募集!**

農林業の生産構造や就業構造などの実態や変化を調べ、農林業施策の企画・立案・推進に役立てる基礎資料とするため下記の地区で調査員となってくださる方を募集します。

**活動地区**

川山、藻川、高野、前田野目、神山、原子、金山、飯詰、長富、金木町(蒔田、川倉、喜良市、嘉瀬)、市浦(相内、十三)の周辺

●**調査員とは**

調査の都度、任命される公務員で、お仕事をしている方でも副業として、調査員活動が可能です!

●**仕事内容**

調査票の配布、回収、点検、整理

●**資格要件：以下のすべてを満たす方**

- ・20歳以上
- ・心身ともに健全
- ・責任を持って調査事務をやり遂げることができる
- ・守秘義務を守れる
- ・税務、警察、選挙に直接かわりがない
- ・暴力団その他の反社会的勢力に該当しない



農林業センサス  
つっちー

※興味のある方は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】ふるさと未来戦略課 統計係(内線2236～2238)

**スマート農機で大豆播種**



6月20日、市内一野坪でスマート農業に取り組んでいる(株)小野農場代表取締役の小野修身さんのほ場で自動操舵による大豆の播種作業が行われました。

小野農場では水稻33ha(主食用米7ha、飼料用米26ha)、大豆13haを作付けしています。

小野さんによると『以前はスマート農業なんて不要だと思っていました。使用してみるととても精度が良く、大豆の播種の際も条間が均等に蒔けます。また、中耕作業の際も神経を使っていたが、楽なので精神的にも身体も疲れなくなりました。』と話されました。

取り組んだきっかけはというと、『単純に使用してみたかった。多少金額は高いが、省力化になり今では本当に取り組んでよかったと思う。一回使用したら止められない。今後は規模拡大し、若手育成にも取り組んでいきたい。』と語ってくれました。



**農地パトロールを  
実施します!!**

農業委員会では8月より、農地パトロール(利用状況調査)を実施します。

この調査は、前年に把握した遊休農地が解消させているかに重点を置き、調査します。

新たに、遊休農地化した農地や無断転用されている農地がないかも確認します。



調査のため、農業委員、農地利用最適化推進委員、市職員が農地に立ち入る場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】農業委員会(内線2882)



**新規就農者リンゴ栽培講習会**



6月19日、農林政策課は市内松野木のリンゴ園で新規就農者を対象にリンゴの実すぐりについて講習会を開催しました。

講師は昨年度末にリンゴの剪定講習会で講師を務めた剪定士の佐藤昭浩氏と福士美奈子氏です。

佐藤氏より『何でも聞いてください。』、福士氏からは『日頃疑問に思っていることを情報交換しながら勉強会をやっていきましょう。』と挨拶がありました。

まずは、資料を基に今年の概況や防除について学びました。佐藤氏は『昨年度の高温障害による影響でマメコバチの活動量の低下や、春に気温が高くなり花が早く咲いてしまい着果量が減ったことで「ふじ」を中心にカラマツ(不受精)の被害が出ている。近年の地球温暖化で今後も気温が高い状況が継続することを想定して来年度は人工受粉させるなど対応していかなければならない。』と説明しました。

次に、佐藤氏が具体的な作業を交え『今年はカラマツが多いので側果を残すという方法もある。』と説明していききました。

受講した蒔田祥平さんは『環境の変化に対応した、リンゴの栽培方法や防除の仕方、日頃疑問に思っていた質問に答えて頂いて貴重な講習会でした。継続的にこのような講習会を開催して頂きたいです。』と感想を述べました。

**農業委員・農地利用最適化推進委員県外視察報告**

当市農業委員会では、7月3日から7月5日にかけて北海道の先進地視察研修を実施しました。研修には農業委員11名、農地利用最適化推進委員10名が参加し農業に関する知識を深めました。

【秩父別町 マイコス米視察】



7月3日、マイコス米に取り組んでいる秩父別町のJA北いぶき代表監事板垣誠さんのほ場を視察しました。

マイコス米とは種籾にマイコス菌(菌根菌)を接種することにより、根を活性化させて水無し技術でも栽培できるお米のことです。乾田直播栽培の技術を用いると、水稻作に必要な育苗や田の耕起、田植えの省力化だけでなく、大型機械で追肥作業が可能となり、天水のみでも水稻が栽培できる画期的な技術であると現在注目を浴びています。

板垣さんは自動操舵やリモートシステムなどのスマート農業機械を活用し、ご夫婦だけで35haの水稻を管理しています。ほ場はGPSレベラーを自ら活用しながら1区画当たりの面積を拡大し、1haから大きい所では4haあるそうです。

マイコス米は「水入れしない水稻」のイメージが強いですが、昨年までは水を張らずに栽培を行ったものの、高温障害により生育が悪かったため、今年産は移植栽培によるマイコス菌の活用を実証しているようです。

マイコス米の現状、スマート農業機械や省力化機械などフル活用する現場を目の当たりにし、地元農業にどのように活用するべきか考えるきっかけとなりました。

【土の博物館 土の館】



7月4日、上富良野町にある土の博物館『土の館』を視察しました。ここは、ブラウ・プラソイラ等の土づくり作業機専門メーカー「スガノ農機」が開設した施設であり、館長の田村政行さんから、五所川原市の過去30年間の月毎の降水量・平均気温をもとに、土地利用作物を栽培するにあたっての高温・湿害対策等についてお話を頂きました。

田村館長は、「耕土一寸米一石」という言葉に触れました。人力による耕起の時代、田んぼを一寸(3センチ)深く耕せば米が一石(150kg)多く取れるという言い伝えで、現代においてもロータリー耕とブラウ耕の深さの違いによって、収穫量や高温障害の影響に大きな差があったというエピソードをお聞きました。

館内では、全国各地の土の標本や、ブラウ耕の歴史などの展示など、土づくりに対して広く理解を深めることができました。

森義博農業委員会会長は『館長の話をお聞きし、いかに土づくりが大切かということが分かりました。帰省後は、あと一寸(3センチ)深く耕して、思いを込めて土づくりに励んで行きたいと思えます。貴重なお話をいただき、ありがとうございます。』と述べました。

【ヤンマーアグリジャパン北海道支社】



7月5日、江別市の『ヤンマーアグリジャパン北海道支社』を訪れ、ヤンマーと50年前に提携し、元来はブラウを製造販売する会社である米国のジョンディア社製の農業用機械の工場を視察しました。

工場内では、米国から2～3ヶ月かけて船で輸送されて来た農業用機械にサビがついていないか等を点検し、ブレーキを連結するなど日本の法律に適合するように組み立てたり付け替え作業を行っています。

令和7年3月末までに策定される地域計画では、両委員が担い手への農地集積・集約を目標地図に反映させるために話し合いの中心となります。

委員たちは、このような若手農家が憧れる海外の大型機械を当市でも活用できるような体制も重要であると再認識し、11月に開催される座談会に意欲を高め、胸を膨らませました。